

# 河内小だより

平成20年6月11日 No.10



国際的な調査結果から、日本の子どもたちが比較指摘されることに「思考力・判断力」「学習意欲」の弱さが言われます。よく考えなさいと言われても、基礎となる基本的な知識がないとできません。情報通信網の発達、インターネットがありますが、信頼性に不安があり、有害なサイトも数多く存在します。そこで重要になってくるのが読書です。本には知識の広がりと深さでは信頼があります。何よりも多くの中から自分で選択できることが重要です。一番の課題は、学習意欲の向上です。どうすれば意欲が向上するかを考え、良いと思われることを実践していきたいものです。

## 朝の読み聞かせの様子〈河村 千津美さん〉



3年生の教室での読み聞かせの様子です。様々な本を選んで、低学年を中心に活動していただいています。一生懸命に聞く児童の姿が印象的です。読書の習慣はまず読書環境の整備が必要です。テレビやゲームやパソコンから離れて習慣づけたいものです。

## 授業風景をのぞいてみました



〈3年生〉

〈4年生〉

〈2年生〉

授業観察をしていると、とても熱心に聞いています。学習の基本は人の話を聞くことからです。集団で学習するのが学校教育なので、一人一人が聞く学習態度が身に付いていないと、学習したことは定着しません。聞き上手な子どもほど学習の定着が高くなってきます。